

おめでとうございます 模範組合員ら37名を表彰

第17回通常総会開催前に表彰式を行い、被表彰者の良質乳出荷組合員8名、優良検定組合員12名、酪農現役従事功労者11名、酪農ヘルパー員1名、永年勤続職員表彰5名に対して、山本武代表理事組合長が表彰状と記念品を贈呈した。また、中国生乳販連会長からは良質乳出荷者に対する顕彰として、組合の基準に該当した良質乳出荷組合員8名に対して、表彰状と記念品が贈られ、同連鍵山常務から手交された。出席組合員からは温かい拍手が贈られた。



▼良質乳出荷組合員を代表して表彰を受ける河野勝美さん(河野久仁子組合員のご主人)



(優良検定組合員を代表して表彰を受けた西原嘉一組合員)



(永年勤続表彰を受けた勤続35年の櫻木茂夫事業推進課課長補佐)

■模範組合員表彰

(1)平成22年度良質乳出荷組合員(8名)

- ◎横山 彰人 様(6回)府中市上下町
- ◎農事組合法人吉浦牧場 様(5回)世羅郡世羅町
- ◎河野久仁子 様(4回)山県郡北広島町
- ◎淵上 増廣 様(2回)福山市駅家町
- 溝上 敬一 様(8回)世羅郡世羅町
- 吉川 春三 様(5回)山県郡北広島町
- 橋本 洋資 様(2回)三次市作木町
- 溝邊 清春 様(2回)三次市甲奴町

(注)◎印の生乳出荷組合員は、衛生的乳質ペナルティの奨励金対象(体細胞数21万個/ml未満)となる36回の検査結果において、全て21万個/ml未満の成績を記録された組合員であります。

(2)平成22年度優良検定組合員(12名)

- 戸政 新太郎 様(5回)三次市三和町
- 石井 修二 様(4回)東広島市福富町
- 渡部 英彦 様(3回)庄原市西城町
- 石富 貞美 様(3回)庄原市口和町
- 向田 康浩 様(3回)庄原市高野町
- 桑田 儀治 様(3回)三次市三若町
- 井上 芳樹 様(2回)安芸高田市甲田町
- 吉川 春三 様(2回)山県郡北広島町
- 道田 稔弘 様(2回)三次市甲奴町
- 有限会社山延牧場 様(2回)東広島市志和町
- 西原 嘉一 様(1回)山県郡北広島町
- 溝上 敬一 様(1回)世羅郡世羅町

■酪農現役従事功労者表彰(11名)

- 三戸 弘 様(山県郡北広島町)
- 久保田正行 様(廿日市市)
- 鉄原 未広 様(庄原市高野町)
- 河野ヒフコ 様(山県郡北広島町)
- 河野コハル 様(山県郡北広島町)
- 小田 文代 様(山県郡北広島町)
- 市原 克己 様(庄原市高野町)
- 後案キシ子 様(山県郡北広島町)
- 荒川 二郎 様(三次市甲奴町)
- 岩田 孝子 様(山県郡北広島町)
- 佐々木鶴枝 様(安芸高田市高宮町)

■酪農ヘルパー員表彰(1名)

- 長尾 慶太 様(10年)

■永年勤続職員表彰(5名)

- 櫻木 茂夫(35年)
- 寺道 弘生(30年)
- 西中 晃(30年)
- 山本 直子(20年)
- 石井 耕三(20年)

酪農現役従事功労者表彰

六月三十日、七月一日の両日

代表理事が出前表彰

六月二十四日、第十七回通常総会前の表彰式において、八十歳を超え、現役で酪農に従事されており、かつ、これまで県内酪農の発展に寄与された方々を対象に酪農現役従事功労者表彰を行った。都合によって、総会当日の表彰式に出席が願えなかった被表彰者十一名全員に対して、代表理事が六月三十日並びに七月一日にそれぞれお宅を訪問し、出前表彰式をもって祝辞に加え、表彰状並びに記念品を授与した。

▼久保田正行さん

(久保田義親組合員)

堆肥管理や草地管理を担当。酪農とのかかわりは約五十年前、妻が一頭の乳牛の子牛を連れて帰ったことに始まる。早い内に手放す予定であったが、飼うことの楽しさから本格的に酪農を始めた。今では、妻に感謝している。

90歳



▼佐々木鶴枝さん

(佐々木信男組合員)

飼槽の掃き掃除や子牛の管理を担当。巡回当日は、動力噴霧器を背負って牛舎回りの除草剤散布を行われていた。また、作業の傍らご主人の看病に頑張っておられる。

80歳



85歳



▼岩田孝子さん

(岩田耕作組合員)

主に子牛の哺乳を担当。飼料収穫時の繁忙期には息子さんの代わりに飼料給与作業を担われる。



80歳

▼小田文代さん

(小田孝志組合員)

牛舎へ行って牛の顔を見るのが楽しみな毎日。飼槽の掃除をしていると顔を寄せてくるのが、なんとも可愛くて仕方がないと優しい笑みを浮かべられる。

▼河野ヒフコさん

(河野久仁子組合員)

堆肥の状況を常に把握し、堆肥利用者からの電話注文にもテキパキと応じられている。

88歳



▼河野コハルさん

(河野通輝組合員)

餌の掃き寄せが日課。時には飼料稲生産に忙しい息子さんに代わって乾牧草の給与も行われる。

87歳



▼三戸弘さん

(三戸保組合員)

毎日、餌の掃き寄せを行う際に牛の顔色を伺い、その日の状態が分かる時、時には息子の保さんにアドバイスされている。

84歳



▼市原克己さん

(市原富子組合員)

糞尿処理やトラクタ等の機械作業にも従事し活躍されている。最近では暑熱対策に牛舎へのすだれ設置などお元気で頑張っておられる。

▼鉄原末広さん

(鉄原和人組合員)

受賞にあたって、長年の酪農作業を振り返り大変喜ばれた。息子さんから、これまでの苦勞をねぎらう言葉がかけられた。

84歳



▼後案キシ子さん

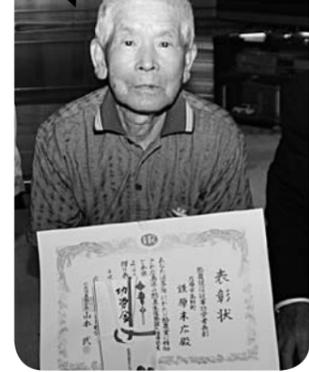
(後案悟組合員)

むかしむかし、今田酪農として河野さんから七戸で出発して色々な苦勞もあつたが息子が酪農を継ぎ、また孫も酪農の道に進んでくれて、とても嬉しいと笑顔で話された。

98歳



88歳



かがやき

第十七回通常総会が終了し、いよいよ第六次中期計画の実行に向けて具体化を図る。

▼第六次中期計画は、各地域で開催した地区懇談会、各地域単位の酪農任意組織団体の会合の場であった意見・要望に加えて、役員から提出を求めた企画提案等を集約して、骨子策定を進めた。

▼第五次中期計画の対象期間では、飼料・資材等の高騰や減産型計画生産によって「未曾有の酪農危機」と称される程の苦難に遭遇し、氣勢を張り上げての乳価引上げ運動と緊急酪農支援事業を展開し、その結果、何とか、その難局を乗り切ったかに見えるが、未だその実態は、後継者就農など将来に夢を託すには乏しいと云えよう。

▼迎える第六次中期計画においても、世界的食料競争による穀物相場の値上げや日本のTPP参加への懸念、国内では政局の迷走や東日本大震災の影響等、我々が如何なる難局を迎えることになるのかも想定し難い状況でもある。

しかしながら、「備えあれば憂い無し」との言葉もある。想定できうるものに対しては、しっかりと準備を進めることで、万一の事態からの脱却の術を見出すことが出来るかもしれない。

▼第六次中期計画には、これまでの行動を踏まえ、今後三年間に向かうべき方向性として「夢の実現3S」を示した。これは①育つ酪農経営、②育つ後継者、③育つ育む新規就農者の三つの推進サポートを柱としている。

▼代表理事は、この中期計画を承認した通常総会終了後、直ちに役員合同研修会を開催し、役員に向けて中期計画実行に向けた方針を伝えた。組合員各位には、今一度、中期計画の内容をご覧頂き、会議や組合員訪問時等各場面で建設的なご意見・ご要望をお寄せ頂きたい。組合は、組合員ニーズの反映、「強調と対話」をもって、組合員サポートと事業運営にあたるため役員一丸となった取り組みを図りたい考えである。

美湯 仙人